

# 9月19日を忘れない 全国1000ヶ所以上で声あがる

自衛隊員を戦地に送るな

## 戦争法廃止

# 9条を守り、いかそう

9月19日、国会前には23000人が集まりました。同時に全国1000か所で、集会・宣伝行動・パレードなどがおこなわれました。安倍政権が憲法違反の戦争法を強行した9月19日から1年。その怒りを、私たちは忘れません。

戦争法は、日本が攻撃されてもいないのに、アメリカなどの戦争に協力して参戦するための法律です。国民を守るものではありません。安倍政権が口実にしていた「抑止力の強化」は実現したのでしょうか。結局、中国や北朝鮮をより刺激することになったのではないのでしょうか。

いま、戦争法ではなく、9条にもとづく平和外交こそ求められています。

### 南スーダンに内戦状態 自衛隊を戦場に送ってはならない

南スーダンPKOに派遣される自衛隊に、戦争法にもとづき「駆けつけ警護」や「宿営地共同防護」の任務が追加されようとしています。激しい戦闘が続く南スーダンは、まさに戦場です。そこで自衛隊員が任務遂行のために武器を使用すれば「殺し殺される」深刻な事態が起こりかねません。「戦地に行かせるために息子を育てたわけではない」隊員の母親の叫びです。自衛隊員・青年を戦場に送ってはなりません。憲法違反の戦争法は今すぐ廃止すべきです。

### 政府は国民にしっかりと説明すべき

1年前、国民の8割の「説明不足だ」という声を無視して戦争法を強行した安倍政権。その後も、説明はないままです。

2100人が参加した京都弁護士会主催の集会（9月22日円山）



国民は納得していません。臨時国会の所信表明演説でも、自衛隊員やその家族の不安にこたえる説明はありませんでした。国民に説明しないまま、民意を無視して、戦争法、TPP参加、沖縄の基地建設などに暴走する安倍政権。さらに参院選で一言も言わなかったのに、「改憲」に踏み込もうとしています。主権者は私たち国民です。だまし討ちは許されません。

シリーズ②  
**自民党改憲草案を斬る**

**憲法の主体を「国民」から「国」へ180度逆立ちした自民党改憲草案**

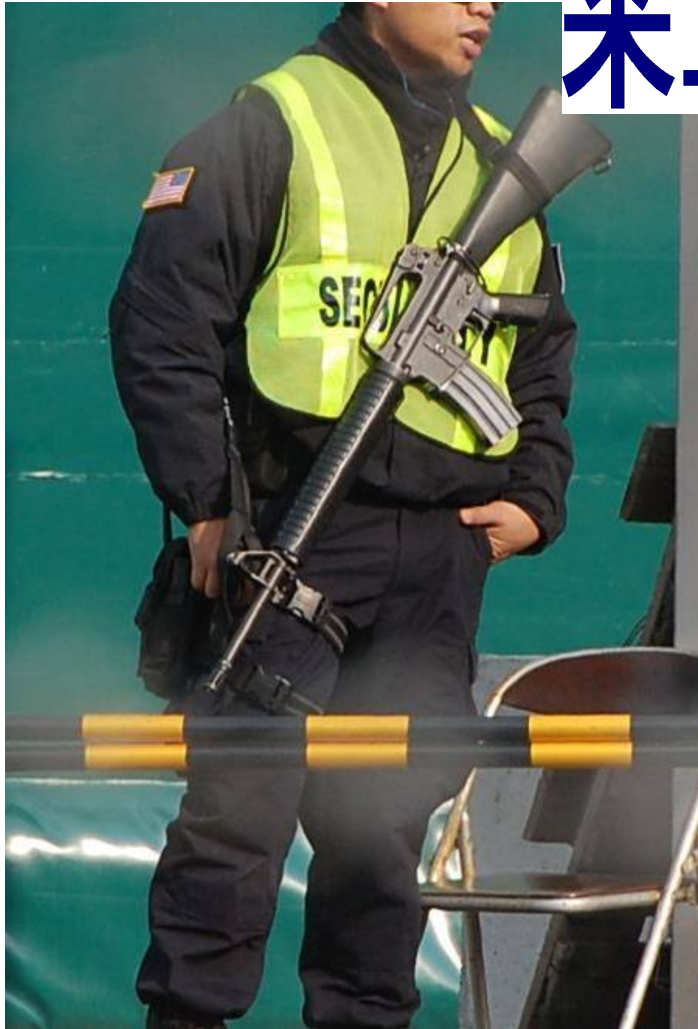
日本国憲法前文は「国民」から始まりませんが、自民党の憲法改正草案前文は「日本国」から始まります。憲法の主体を「国民」から「国」へと180度転換するものです。

憲法は本来、権力を縛り、国民を守るものです。ところが、自民党改憲草案は国民を縛り、権力を守るものとなっています。これでは「憲法」とは呼べません。



# 京都に2つ目の米軍基地?!

## 米軍が福知山で実弾射撃訓練



京丹後の米軍基地で銃を前に携帯し警備に当たる  
シェネガ社の軍属

### 自衛隊駐屯地

実弾射撃訓練の目的は、6ヶ月間で失効する米軍人・軍属の射撃資格の維持が目的。現在は年2回、静岡県のみ軍キャンプ富士で実施しているが、遠距離であり福知山で実施したいと要望していると報道されています。福知山での訓練は、年間20日間(4回、1回あたり5日間)一回当たりの参加者は50人の規模。リーダー基地から訓練場まではバス移動、実弾や銃器は別車両で運搬するとしています。また、米軍が自衛隊基地を使用するのは、日米合同委員会で「共同使用施設」にした後、閣議決定が必要となります。

地元福知山では、「こんな重大なことを、地元住民には全く知らせずに、米軍と防衛省、国や京都府で進めていたのかと腹が立つ」「丹後では、米軍関係者の交通事故が頻発し、住民が泣き寝入りしていると聞いている」「バスで基地から福知山まで移動というが、丹後では、『住宅地から基地へはバスで集団通勤』と説明されていたが、まったく守られていない」「実弾と銃を持った米兵・軍属が市内をウロウロするのかと不安」などの声が続々と出ています。福知山を2つ目の米軍基地にするな！実弾演習は認めない！の声を、大きくしましょう。

住民には何も知らせず  
こんな重大なことを決めるのか

自衛隊福知山駐屯地の射撃訓練施設で、京丹后市経ヶ岬の米軍Xバンドリーダー基地の米軍人・軍属が実弾を用いての射撃訓練を11月から計画していることが分かりました。

地元では、「京都に2つ目の米軍基地ができるのと同じ」「丹後では、相次ぐ交通事故が発生、子どもたちが心配」など、不安と心配の声が広がっています。



銃を前に構え引き金に指をあてて警備する姿は、沖縄でもあまり見られません。